

# 消防千葉

**2015 No.539** 平成27年9月号

---

平成 27 年 9 月 1 日 編集兼発行人  
千葉市中央区仁戸名町666番地2 千葉県消防会館内  
公益財団法人千葉県消防協会会長 石橋 毅  
TEL043(263)9885  
郵便番号 260-0801  
ホームページ <http://business4.plala.or.jp/chisyo/>  
メールアドレス [chisyokai@bz04.plala.or.jp](mailto:chisyokai@bz04.plala.or.jp)

---



洲崎灯台（館山市）安房支部

**巻 頭 言****「大規模災害時に対応した消防力の  
充実・強化に向けて」**

船橋市消防局長 伊藤 陽基



船橋市は東京から20キロメートル圏内に立地し、市内に9路線35駅の鉄道網や高速道路などの主要幹線道路が走り交通機関が充実しております。

また、東京湾の干潟である三番瀬から北に向かい工業地・商業地・住宅地・農地が広がり、平成27年3月に人口62万人を超え、今後も緩やかに増加していく見込みであります。

本市の消防は、昭和24年4月1日に発足、現在、職員定数647人、1局3署7分署2出張所1救急ステーション体制で「市民の安心・安全を守る消防」をテーマとして、より安全で安心して暮らせるまちづくりに全力で取り組んでおります。

さて、今年で「阪神・淡路大震災」から20年、「東日本大震災」から4年が経過いたしました。その間も、集中豪雨や土砂災害、火山の噴火など各地で大規模な自然災害が多発し、多くの尊い人命が犠牲となっており、近い将来首都直下地震等の発生も危惧されております。

このような状況の中、本市におきましては大規模災害等に備え、更なる消防力の充実・強化に向けて積極的な取り組みを行っております。

その第一歩として、大規模災害時に消防活動を安定的に継続できるよう「災害対策用自家給油取扱所」の運用を昨年5月末に開始いたしました。

また、今年3月には地域防災力の向上を目的として、千葉県水道局等と「排水栓」の活用ができるように覚書を締結し、自主防災組織による消火活動が可能となり、住宅密集地域でも、火災による延焼被害の軽減に役立つことが期待されます。

更には、災害時の活動拠点としての機能確保を図るうえで、既存庁舎の維持及び改修整備計画を進めるとともに、消防局の新庁舎建設並びに消防署所の適正配置を推進することにより、消防・救急需要に適切に対処してまいります。

また、消防団においては大規模災害時にも地域住民と協力して活動できるよう平常時から、町会や自治会等における消防訓練や防火・防犯パトロールに積極的に参加をするほか、団員が講師となり小学生を対象にした防火教室、町会や自治会等に対する災害図上訓練(DIG)の指導、応急手当の普及啓発活動等を行っております。

本市の消防体制は、先人が築き上げた長い歴史と伝統からなるものであり、更に飛躍・発展することができるよう、今後も全消防職団員が融和団結を図り大規模災害時に対応した消防力の充実・強化に向けて努力してまいります。

# 平成27年度「防火・防災ポスター展」表彰式

千葉県・(公財)千葉県消防協会・千葉県少年婦人防火委員会



防火・防災についての関心を高め、防火・防災意識の啓発を図ることにより災害の未然防止と被害の軽減に役立てることを目的として、千葉県、(公財)千葉県消防協会及び千葉県少年婦人防火委員会の主催により県下の小中学校の児童・生徒から募集した防火・防災に関するポスター展の表彰式が8月19日(水)千葉県庁本庁舎5階大会議室において、受賞者、受賞者の保護者等多数の御臨席のもと開催されました。

本年度は、県内35の小・中学校から1,242点の作品が寄せられ、厳正な審査の結果、最優秀賞は、小学生低学年の部でいすみ市立千町小学校2年田口蒼空さん、小学生高学年の部で大網白里市白里小学校4年関口聖良さん、中学生の部で船橋市立三田中学校3年安田有里さんが受賞され、優秀賞には茂原市立茂原小学校1年 廣瀬隼人さんの作品外5点、千葉県消防協会長賞には茂原市立茂原小学校1年小山葵さんの作品外5点、千葉県少年婦人防火委員会長賞にはいすみ市立千町小学校2年 森川結衣さんの作品外5点選ばれ、高橋千葉県副知事及び石橋千葉県消防協会長からそれぞれ表彰を受けました。



各賞の受賞者は、次の通りです。

[ 知事表彰 ]

最優秀賞

たぐち	そら	いすみ市立千町小学校	2年
田口	蒼空		
せきぐち	せい	大網白里市立白里小学校	4年
関口	聖良		
やすだ	ゆり	船橋市立三田中学校	3年
安田	有里		

優秀賞

ひろせ	はやと	茂原市立茂原小学校	1年
廣瀬	隼人		
おしだり	れん	茂原市立茂原小学校	1年
忍足	蓮		
にしむら	ゆづか	野田市立関宿中央小学校	6年
西村	柚花		
あそう	せな	長南町立豊栄小学校	5年
麻生	星渚		
たかの	さやこ	市原市立五井中学校	1年
高野	紗也子		
ねじょう	ありさ	成田市立公津の杜中学校	3年
根城	有理紗		

[ 消防協会長表彰等 ]

(公財) 千葉県消防協会長賞

こやま	あおい	茂原市立茂原小学校	2年
小山	葵		
いわさ	りおん	長南町立豊栄小学校	1年
岩佐	律音		
じょう	あみと	我孫子市立我孫子第二小学校	5年
城野	天都		
かわすみ	うらら	野田市立みずき小学校	6年
河住			
ありさか	みゆう	船橋市立三田中学校	3年
有坂	美祐		
かわぐち	たかこ	船橋市立三田中学校	3年
川口	孝子		

千葉県少年婦人防火委員会長賞

もりかわ	ゆい	いすみ市立千町小学校	2年
森川	結衣		
くまの	かなと	茂原市立茂原小学校	6年
草野	奏斗		
おだ	りょうすけ	我孫子市立我孫子第四小学校	6年
織田	涼佑		
こまぎき	つくし	市原市立五井中学校	1年
駒崎			
ひろべ	りん	館山市立第三中学校	3年
廣部	倫		

受賞作品

知事表彰 最優秀賞



いすみ市立千町小学校 2年  
田口 蒼空



大網白里市白里小学校 4年  
関口 聖良



船橋市立三田中学校 3年  
安田 有里

知事表彰 優秀賞



茂原市立茂原小学校 1年  
廣瀬 隼人



茂原市立茂原小学校 1年  
忍足 蓮



野田市立関宿中央小学校 6年  
西村 柚花



長南町立豊栄小学校 5年  
麻生 星渚



市原市立五井中学校 1年  
高野 紗也子



成田市立公津の杜中学校 3年  
根城 有理紗

(公財)千葉県消防協会長賞



茂原市立茂原小学校 2年  
小山 葵



長南町立豊栄小学校 1年  
岩佐 律音



我孫子市立我孫子第二小学校 5年  
城野 天都

(公財)千葉県消防協会会長賞



野田市立みずぎ小学校 6年  
河住 うらら



船橋市立三田中学校 3年  
有坂 美祐



船橋市立三田中学校 3年  
川口 孝子

千葉県少年婦人防火委員会会長賞



いすみ市立千町小学校 2年  
森川 結衣



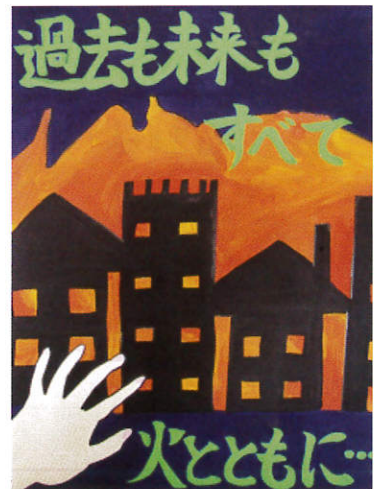
我孫子市立我孫子第四小学校 6年  
織田 涼佑



茂原市立茂原小学校 6年  
草野 奏斗



市原市立五井中学校 1年  
駒崎 つくし



館山市立第三中学校 3年  
廣部 倫

# 第44回 消防救助技術関東地区指導会

～ 千葉県消防長会 ～

7月17日(金)埼玉県において、一般財団法人全国消防協会関東地区支部主催による、第44回消防救助技術関東地区指導会が開催されました。

本大会には、1都9県(185消防本部)から選抜された682名の隊員が、陸上の部3種目と水上の部7種目及び技術訓練に出場し、8月29日(土)神戸市で開催される第44回全国消防救助技術大会を目指して日頃錬磨した救助技術を競いました。

大会当日は、西日本を直撃した台風11号による強い風雨の影響もありましたが、千葉県代表として出場した12消防本部89名の隊員は、応援に駆け付けた皆様の大声援を受け、日頃の訓練成果を発揮し、以下の隊員が関東地区代表として全国大会への出場権を獲得しました。

## 《開会式》



## 《陸上の部》



☆ 引揚救助	成 田 市	消防副士長 消防副士長 消防副士長 消防士 消防士	伊藤 信行 田中 裕貴 宮島 厚 櫻井 真吾 川嶋 容助
--------	-------	---------------------------------------	--

市 原 市	消防士長 消防士 消防士 消防士 消防士	小早瀬広明 片倉 慎也 小川 卓也 高橋 基之 中村誉志綺
-------	----------------------------------	---



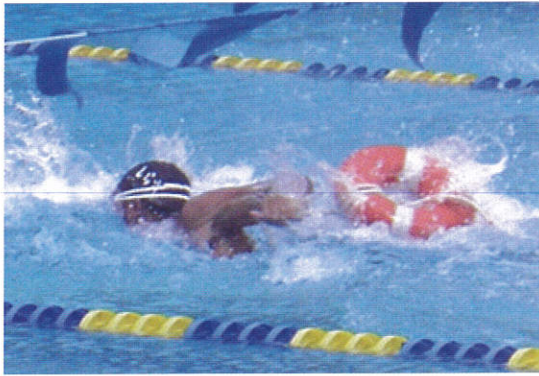
☆ 障害突破	流 山 市 (関東1位)	消防士長 消防士長 消防副士長 消防士 消防士	安部 雄一 菅 裕樹 知久 隼人 熊谷龍之介 山田 陽一
--------	-----------------	-------------------------------------	--

成 田 市	消防司令補 消防士長 消防士長 消防士 消防士	鎌形 利春 鈴木 翔 山口 惇一 村松 博文 植田浩一郎
-------	-------------------------------------	--

《水上の部》

☆ 基本泳法

松戸市 消防士 大川 一成



☆ 溺者救助

千葉市 消防士長 三橋 亮  
消防士長 笹浪 悠  
消防士 佐久本 翔



《6月2日千葉県大会結果による全国大会出場者（陸上の部）》

☆ はしご登はん

流山市 消防士 大崎 洋平

☆ ロープブリッジ渡過

習志野市 消防士 福岡 義人

☆ ロープ応用登はん

千葉市 消防司令補 間宮 大介  
消防士長 稲見 康

☆ ほふく救出

君津市 消防司令補 長谷川雄一  
消防士長 鈴木 拓也  
消防士 高澤 尚人



はしご登はんの様子（県大会）



ロープブリッジ渡過の様子（県大会）



ロープ応用登はんの様子（県大会）



ほふく救出の様子（県大会）

《おわりに》 全国大会へ出場される隊員のご活躍を期待しますとともに、皆様からのご声援もお願いいたします。



## 第22回 全国女性消防操法大会出場に向けて

平成27年10月15日（木）に横浜市消防訓練センターで開催される第22回全国女性消防操法大会に「柏市女性消防分団」が千葉県代表として出場することになりました。

柏市女性消防分団は、平成26年4月に発足して、今年度で2年目を迎え現在分団長以下14名で構成されています。



日頃、火災予防啓発活動、応急手当普及講習会での指導を行うなど、地域防災活動に積極的に取り組んでいます。本大会に出場にあたり、消防団員の志気の高揚を図る事等を目的として、家事や仕事のかたわら週3回の厳しい訓練を積み重ねた成果を十分に発揮して入賞を目指して臨みます。

団 長	小田山	博 史
隊 長	新 井	さと美
指揮者	松 富	由美子
1 番員	松 田	香 織
2 番員	小 川	友佳織
3 番員	藤 原	美 貴
4 番員	會 田	順 子
補助員	北 村	綾 香



# わが町の消防団 ① 木更津市消防団



わが町、木更津市は南房総の東京湾岸に位置する暖かな町です。東京湾アクアラインのたもとには盤州干潟が広がり、内陸部には万葉集にも登場する緑豊かな上総丘陵があり、海の幸・山の幸に恵まれた自然豊かな町です。コンディションが良い日には富士山を望むこともできます。

きさらづの語源は古事記の「きみさらず伝説」にあるという説があるほど、歴史ある町で、江戸時代には町人文化も流入し、木更津を全国的に有名にし

た歌舞伎「切られ与三郎」や木更津甚句が誕生しました。

また、童謡「証城寺の狸ばやし」の舞台の地として有名ですが、テレビドラマ「木更津キャッツアイ」や、人気ロックグループ「氣志團」の出身地としても注目を浴びています。昔から港町として栄え、昭和後半はカーフェリーも活躍し、その後、陸上交通でも館山自動車道・圏央道（首都圏中央連絡自動車道）・東京湾アクアラインがクロスする、今も昔も交通の要となっています。

更に、研究機関を集めたかずさアカデミアパーク、千葉県の新しい玄関口として整備されるか



ずさアクアシティ、大規模ショッピングモールの開業など、木更津の町並みは大きく変わりつつあります。しかし、変わりゆく中でも、昔ながらの建物が多く残るのが木更津です。

我が木更津市消防団は、13万人市民の「安心・安全」を守るため、竹内克哉消防団長以下553名の消防団員で構成され1団本部、8分団、39部を編成しており、消防ポンプ自動車11台、小型動力ポンプ付積載車28台の消防車両を配備し活動しております。

各消防団員は、地域防災の要であることを常に自

覚し、5月には全消防団員を対象にした規律訓練や機関技術の習得を目的とした研修会を開催し、6月には隔年で操法大会、11月にはより早く消火することを目的とした、早出し放水競技大会を実施し、2月には、「木更津市消防団地震災害対応マニュアル（平成21年10月作成）」に基づいた、消防団員の「参集」・「情報収集」・「広報」・「避難誘導」を盛り込んだ訓練を実施しております。26年4月には消防団幹部を対象とした図上訓練を実施し「自分たちの町は自分たちで守る」という郷土愛護の精神で日々活動に励んでおります。

また、団員の知識や技術の向上を目的として、県消防学校への入校及びさまざまな分野の研修や講習にも積極的に参加をしているほか、年間を通じて市や地域主催のイベント等への参加や、年末の歳末特別警戒など、火災予防を呼びかけるとともに、地域に密着し、幅広く市民に親しまれ、愛される消防団を目指して今後も活動してまいります。



## わが町の消防団 ② 長生郡市広域市町村圏組合消防団



長生郡市は、県中央部に位置し、人口15万、面積327km<sup>2</sup>、東西15km、南北15kmにおよび、行政区域は茂原市、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町の1市5町1村で構成されています。

主要産業としては、茂原市を中心に豊富な地下資源である天然ガスを、燃料及び原料とした内陸工業が発展、一方、長生郡は昔から農業の盛んな地域でもあります。

これに加え、近年では立地条件を活用したテニス・ゴルフなどのレジャースポーツ施設とともに温泉宿

泊施設も完備、首都圏の近郊型レクリエーション地域として人気を集めています。

消防団においては、昭和40年代の高度経済成長によって、若者のサラリーマン化が進み、昼間団員の出場率は低下傾向にありました。一方、産業構造の急激な変化による災害や事故など、危機感が叫ばれ防災面への対応を迫られていました。

そうしたなか、昭和46年4月、郡内住民の永年の願いであった常備消防の広域運用が開始されたが、当時の消防力はまだ脆弱で消防団への依存度は大きかった。

そこで常備消防との連携と広域災害への対応を図るため、昭和47年12月、長生郡市消防団合併協議会が立ち上がり、各市町村団長、副団長による協議の結果、合併を決議、昭和49年4月長生郡市広域市町村圏組合消防団が発足しました。

合併時は、9個分団、34個部、170班、2497名でスタート、昭和62年には大幅な定数削減とともに組織活性化対策として、支団制を導入、現在、小高利広氏を団長とする1団本部、9個支団、32個分団、108部、定数1491名（現員1474名）で活動を行っております。

当初は、市町村間の格差や慣例の違い、人事等さまざまな問題を抱えながらも、組織力の向上と連携を図るため、幹部教育及び訓練による強化を進めていたところ、昭和62年12月、千葉県東方沖地震をはじめとする、平成元年の集中豪雨、翌年の茂原市竜巻災害、さらに平成8年の豪雨災害と立て続けに自然災害の脅威にさらされることとなりました。

そのたびに当消防団は、素早い対応と組織力、自らの被災も顧みず懸命の警戒活動を展開、被害の拡大を最小限に食い止めたことは、個々の団結と使命達成によるもので、災害時の動員力を強く示すもので、団のスリム化を推進していた関係者に衝撃を与える結果となり、その後の定数維持、存続につながることになりました。

しかし最近の社会環境の急激な変化等によって、入団者の減少が始まり、今年度は17名が減数になるなど、今後の団員確保が心配されているところです。

こうしたなか、平成21年度から、消防団協力事業所表示制度を導入し、消防団員の活動しやすい環境を整備し団員確保に努めております。

また、今後はこれに加え内部環境等の整備を進め、地域住民の信頼と期待に応えるため、入団者の一層の促進と新時代に対応する組織作りを目指し、一丸となって取り組んでまいります。



# 東 西 南 北

東 西  
南 北

## 市内の市立保育園、幼稚園の先生：消防訓練研修 浦安市消防本部

浦安市消防本部では、園児を守る先生たちの自衛消防力を高めるために6月11日(木)、17日(水)に市内にある神明幼稚園を会場として市立保育園、幼稚園の先生を対象に消防訓練研修を実施しました。11日の消防訓練講習は園長のみを対象に17日の消防訓練研修は主任以上の先生を対象に実施しました。

両日ともに、火災概要と火災が起きた時の行動についての講義を行った後、園内の居室に煙を焚き煙の怖さを体験してもらい、消防職員による消防設備の説明を行い、その後2つのグループに分かれて模擬の火災想定訓練を実施しました。実際にベルが鳴っている状態での消防訓練を行ったことがない先生が多く、一つ一つの訓練に関心をもっていただき、自衛消防の意識が高まりました。

今後も市内の保育園、幼稚園の消防訓練研修を行っていく予定です。



東 西  
南 北

## 国際消防救助隊・千葉県警第三機動隊合同訓練を実施！

柏市消防局

柏市消防局は、6月21日、UR都市機構のご協力により、建て替えによる解体団地を活用し、市消防局国際救助隊と千葉県警第三機動隊で合同訓練を実施しました。

訓練では、大地震により建物が崩壊し、要救助者が取り残されたとの想定で実施し、救助技術の向上と県警との連携を図ることができました。

隊員からは、「実際の建物を使用することで、より実践に近い形で技術を身につけることができた。この経験を災害時に役立てたい。」などの声が聞かれ、過酷な災害現場で活動する隊員にとって、心構えを新たにする有意義な訓練となりました。



## 東 西 水難救助訓練を実施 南 北

柏市消防局西部消防署・旭町消防署

西部消防署と旭町消防署では、平成27年6月24日から26日までの3日間、台風や集中豪雨が増える季節を前に利根川水難対策用船着場を利用して、溺者救出等の習熟を目的として舟艇訓練を実施しました。

近年、注目されている手法であり、多数の要救助者にすばやく対応ができるという有効性を持つ水上バイクによる救助法を、今回の訓練によって再確認し、実災害における共通認識を持つことができ、水面救助戦術の向上を図ることができました。



## 東 西 5 機関参加による NR 災害対処合同研修会と実動訓練 南 北

千葉市消防局

平成27年6月25日に、独立行政法人放射線医学総合研究所でNR（核・放射線）災害を想定した実動訓練を実施し、その後7月6日に訓練の検証会を行いました。

放射線源（イリジウム-192, 370GBq）を積載した盗難車両の交通事故という訓練想定で、テロも考慮した内容で行われ、訓練参加者は70人、千葉県警察、千葉市、千葉市消防局、日本医科大学附属千葉北総病院、放射線医学総合研究所REMATの各機関が参加し実施しました。

昨年度は机上訓練を含め3回の合同研修会を実施しており、実動訓練は今回初めてでしたが、今後も各機関の連携を高めるため、訓練を重ねていきます。



# 日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

## 平成 27年 9月

- 9月 6日 新時代に対応した消防団運営の普及に係る講座（千葉市）
- 9日 全国消防殉職者遺族会理事会
- 10日 第34回全国消防殉職者慰霊祭（ニッショウホール）
- 14日 第160期初任科卒業式（消防学校）
- 17日 全国女性消防団員リーダー会議・意見交換会
- 29日 第161期初任科入学式（消防学校）



平成27年度 全国統一防火標語

**「無防備な 心に火災が かくれんぼ」**

平成27年度

## 秋の全国交通安全運動

9月21日(月)から9月30日(水)

スローガン

～ 外出は 明るい笑顔と 反射材 ～

### <表紙の説明>

#### 洲崎灯台（館山市）安房支部

洲崎灯台は、1919年（大正8年）に点灯を開始した、高さ約15mの灯台です。

対岸の三浦半島にある劔崎灯台とともに、東京湾の入り口を守る灯台として航行する船舶の安全を支えています。灯台の周りには地元の人たちがマーガレットを植栽しており、時期になると可憐な白い花が咲き、晴れた日には、富士山や伊豆大島、三浦半島などを眺めることができる、まさに絶景のビュースポットです。平成27年3月26日には文化財登録原簿に記載され、館山市内で7件目の国登録有形文化財（建造物）として登録されました。また、「鏡が浦から富士の見えるまち 館山」が、NPO法人地域活性化支援センターが主催する『恋人の聖地』に認定され、聖地のスポットの一つとして洲崎灯台が想定されています。

